

自己成長を目的とした場の デザイン(前半) - KKJの基本デザイン -

京都大学
高等教育教授システム開発センター

田中每実

公開実験授業/TIDEプロジェクトからKKJへ

- 1) 公開実験授業のコミュニケーション様式の拡張
- 2) 公開実験授業の学生参加様式の拡張
- 3) TIDEにおける文化問題の継承

公開実験授業からKKJへ

- 1) 「何でも帳」による教師/学生の関係、抜粋による教師/学生集団の関係を、学生同士の関係に拡張する
- 2) 公開実験授業の「学生が参加する授業」を「学生が構成する授業」に拡張する

KKJの基本設計

- 京都大学2回生以上の教養教育ゼミ
- 慶應義塾大学総合政策学部井下教授ゼミ
- WEBの掲示板による相互討論
- 合同合宿

京都大学におけるゼミ活動

- 全学共通の「高度一般教育」として開講されている「教育とコミュニケーション」
- 前期開講で継続性はなし
- 学生が構成するゼミ
- 教官の指導は間接的(廊下会議)

慶應義塾大学におけるゼミ活動

- ゼミナール形式
- 半期ごとの所属変更は可能だが卒論執筆までの継続者が多い
- 教員が設定したテーマに基づいて学生が討論する

連携ゼミの目的

- 多様な場でのコミュニケーションを通じて、自己探索、自己形成を促進させる
 - → 教養教育の実現
- 大きな同質性と小さな異質性をもつ二つの集団による緊張を生かす
- オンラインとオフラインを相補的に組み合わせる

遠隔教育の2類型

	類型1	類型2
学校教育	量的な補完・拡張	質的な変革
学習様式	伝達型 個人的	参加型 集団型
インターネット	道具の機能	場の機能

学生参加型授業の2類型

	目標	計画	授業				授業過程	授業方法	教員の位置	指導性	偶然性	他者性	意志疎通障害	教員役割
類型1	生成	あらがき	集団的 自己形成	相互性重視	プロセス重視	今とここ重視	脱コスト効率 自己目的	芸術	系のうち	支援	成功	尊重	歓迎	生成
類型2	生産	詳細	安全な 団体旅行	システム重視	タスク重視	結果重視	コストと効率 目標達成の手段	技術	系の外	誘導	失敗	排除	排除	固定